

『ベン・ブラッドリー自伝』刊行記念
『ワシントン・ポスト』編集主幹の
ベン・ブラッドリーと日米ジャーナリズム考

講演者
根津 朝彦

立命館大学産業社会学部教授
法政大学国際日本学研究所客員所員

コメンテーター
田中 優子

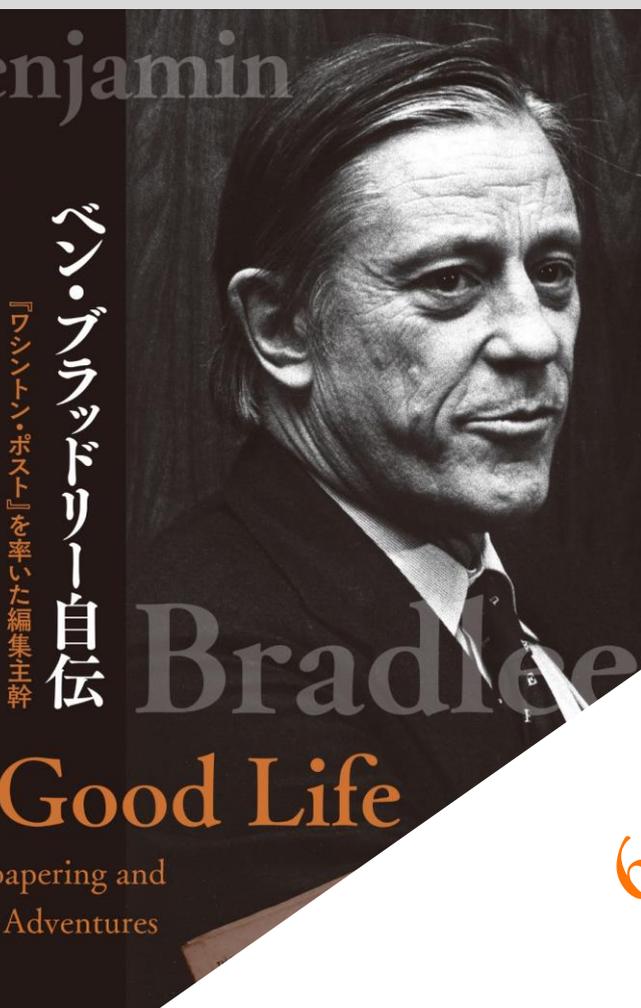
法政大学名誉教授
国際日本学研究所客員所員

司会
高田 圭

法政大学国際日本学研究所准教授

今春、刊行した共訳書『ベン・ブラッドリー自伝——『ワシントン・ポスト』を率いた編集主幹』（法政大学出版局、2025年）の内容を紹介しながら、『ワシントン・ポスト』編集主幹を1968～1991年の長期にわたって務めたベン・ブラッドリー（1921～2014年）が果たした役割と、日米のジャーナリズムをめぐって考えられることを話題提供したい。

ベン・ブラッドリーは、1971年のベトナム戦争に関するペンタゴン文書（国防総省機密文書）の報道、1972年からのウォーターゲート事件の報道を指揮した人物であり、『ワシントン・ポスト』を『ニューヨーク・タイムズ』に比肩するアメリカを代表する新聞に引き上げたジャーナリストである。



法政大学
市ヶ谷キャンパス
大内山校舎5階 Y506 教室

2025年
6月21日 (土)
14:30～16:30

対面開催
・
参加費無料

QRコードから事前に参加申込をお願いします。

